

# あらくさ

編集責任者：歌房哲也

〒729-4101 広島県三次市甲奴町本郷11584

生活介護事業所 あらくさ

TEL 0847-67-3410 FAX 0847-67-3439

E-mail [arakusa@f2.dion.ne.jp](mailto:arakusa@f2.dion.ne.jp)

〒729-4101 広島県三次市甲奴町本郷1215-1

就労継続支援B型事業所 夢工房ねむの木

TEL 0847-67-5051 FAX 0847-67-2080

E-mail [arakusa-nemunoki@r3.dion.ne.jp](mailto:arakusa-nemunoki@r3.dion.ne.jp)

地域活動支援センター ぶらっと

TEL 0847-67-5052 FAX 0847-67-2080

E-mail [arakusa-flat@r7.dion.ne.jp](mailto:arakusa-flat@r7.dion.ne.jp)

あらくさホームページ <http://www.pionet.ne.jp/~arakusa>

## 大盛況！第22回あらくさ夏まつり

8月4日（土）昨年を上回る多くの方にご来場いただき、今年も夏まつりを盛大に開催することができました！

### 元気の歌声でスタート！！

あらくさ・ねむの木の利用者の思いがこもった合唱で元気に夏まつりがスタートしました。尊い命が奪われる事件が多く報道されていることから、いのちの大切さを訴えたいという思いで『いのちの歌』と、利用者が作詞した『みんなのわ』の2曲を歌いました。

地域の方々をはじめ、来て頂いたたくさんの方々に日頃の感謝の気持ちを込め、みんな力強く大きな声で、元気いっぱい歌いました。会場から大きな拍手を頂き、みんなの思いを歌声に乗せて、届けることが出来ました。



晴れやかな笑顔で熱唱！



### 祭りを彩る、華やかなステージ♪

こうぬ保育所の子どもたちは、歌とかわいいダンスを元気いっぱい踊りました。甲奴中学校ブラスバンド部の皆さんは『学園天国』『上を向いて歩こう』の2曲を演奏されました。

劇団こうぬさんは舞踊とハーモニカ演奏、アロハピースこうぬさんは優雅なフラダンスを披露されました。また甲奴町内外で音楽活動をされている平川琢也さんは、馴染みのある名曲を演奏され、会場を巻き込んで一緒に歌い、大変盛り上がりました。

甲奴太鼓一心&宇賀太鼓さんが最後に気持ちのこもった『美ら海』・『合戦』2曲を披露して頂き、会場中が圧倒された雰囲気になりました。



恥ずかしがらず、みんな元気いっぱい！！

### 屋台も大盛況！！

焼きそば・焼き鳥・わたがし・かき氷に加え、今年は新たに手羽先ぎょうざの屋台が並び、自主製品はあらくさのパンや焼き菓子を販売しました。買い物や食事を楽しまれる方で賑わい、用意していた食べ物・飲み物はほぼ完売でした。

またあらくさの利用者自治会が運営する仲間屋台では『射的』を行いました。たくさんの子どもの楽しそうな声で賑わい、利用者と地域の皆様が笑顔で交流する場面もみられました。

よ〜く狙って倒してね！







## 最後のお楽しみ！



たくさんの景品を用意した『ビンゴゲーム大会』が始まると、子どもさんを中心にステージ上に注目が集まりました。

司会者が数字を読み上げるたびに歓声やどよめきの声が起こり、次々あがる「ビンゴ！！」の元気な声に会場は盛り上がりました。「どれにしようかな？」と悩みながらも、嬉しそうに景品を選ばれる皆さんの表情がとても印象的でした。

## ご協力ありがとうございました！



今年も多くの方にご来場頂き、誠にありがとうございました。「今年も本当に楽しかった」「屋台の食べ物も美味しかったよ」など多くの言葉を頂き、とても嬉しい一日になりました。

今回夏まつりの司会を担当した利用者さんからは「あらくさが、こんなにもたくさんの人に見守られているということを強く感じる事ができました。夏まつりらしい、活気のある雰囲気にも包まれていてとても嬉しく思いました」と、支えてくださる地域の方々の大切さを、司会を通して改めて感じる事ができたようでした。

ご協力くださる皆様のお陰で、あらくさ夏まつりは開催することができています。ステージに出演して頂いた方々、また準備段階からお手伝いして頂いた、あらくさ友の会・家族会、ボランティアの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。来年も、地域の皆さんに楽しんでいただけるあらくさ夏まつりにしたいと思います。

(担当:原・梅木)

## ～津久井やまゆり園障害者殺傷事件に想いをよせて～

「残虐な事件を、思い出したくないけれど、忘れてほしくない」この言葉は、ご遺族の方が言われた言葉です。2016年7月26日に起こった「津久井やまゆり園障害者殺傷事件」から2年が経過しました。犯人は、津久井やまゆり園で働いていた職員でした。やまゆり園と同じ、福祉の現場のあらくさに、昨年度入った職員の2人が、この事件に対する想いを寄稿してくれましたのでご紹介します。

「障害のある人は不幸しか生み出さない、命に価値はない」と、未だに身勝手に差別的な主張を、犯人は繰り返しています。本当に価値のない命などあるのでしょうか。命の価値は、誰かが決めるべきものではありません。そう考えると、自分のやったことが「正義」だと言う犯人の考え方や、犯した犯罪は許されることではありません。私は、犯人の主張に、どうしても怖さを感じてしまいます。

このような悲惨な事件が二度と起こらないように、風化させてはいけない事件だと思います。

松川 萌恵

犯人は、「障害者は意思疎通のできない失心者だ」と言っています。しかし、障害のある人も変わらない人間です。私自身、身体に障害を持っていますが、他の人と違うと思えません。そんな偏見の目が、障害のある人に向けられています。「心無い言葉」は、よく耳にしますが、「心無い目線」もあるのです。思っても口に出さないだけで、この事件の犯人のような考えを持っている人が、他にも居るかもしれない。その恐怖がぬぐえません。

偏見の目がなくなり、誰もが住みやすい社会を作るのは、難しいことなのでしょうか。一人ひとりの考え方が変わっていけばきっと難しいことではないと思います。そうであってほしいと思います。

前中 俊樹



この事件では、多数の方が傷つき、今なお、悲しみや苦しみ、心の傷と向き合い生活されています。謹んでお見舞い申し上げます。そして、あらためて、亡くなられた19人の方々のご冥福をお祈りいたします。(担当:松川・前中)



# 障害のある人たちの「働く」を考える



## 障害のある人たちの「働く」場所

働くことを希望する障害のある人は、大きく分けて一般企業に雇用される「一般就労」と、あらくさのような福祉事業所で、働く「福祉的就労」という2つの方法があります。

「一般就労」は、雇用主との雇用契約が成立し、最低賃金法などの労働法規の対象となりますが、「福祉的就労」は、障害のある人が、作業所などで、必要な支援を受けながら働くことを言います。

## 「働く」ということ

障害が重たいと言われる人ほど、日常生活の中で人に支えてもらう事の多い生活になりがちです。しかしながら、自分の持っている力で、精一杯働きたいと思うのは、人として自然なことだと思います。

「働く」とは、すぐに、生活の糧としてのお金を稼ぐことだと思う人が多いと思います。ですが、生活の為のみならず、生きがい（自己実現）や社会との繋がり（社会連帯）という意義があるとも言われています。それは、どんなに障害の重い人たちも同じです。

あらくさでは、焼き菓子製造グループの利用者全員で行う「クッキー」作りで、お互いに協力しあいながら作業をすることで連帯感が生まれています。農作業では、苗を畑に植え、成長を見守りながらみんなでやる「野菜の収穫」は、喜びや、達成感にあふれています。また、レストランの接客では、お客様から「ありがとう」と言われることで、誰かの役に立っているという自信と、働く喜びを感じるのです。「働く」とことを通して、人間らしく生きたいと思う気持ちを実現していけるのではないのでしょうか。



## 「働く」ことが選べる社会に

近年、営利を追求する企業のみならず、福祉の分野においても「生産性の向上をめざす」という言葉が頻繁に使われるようになりました。しかし、福祉の大きな使命は、障害の有無にかかわらず、誰もが安心して暮らすことができる社会を実現することであり、公益を追求することにあります。もし、福祉の分野において「生産性」や「効率」が優先されるようなことがあれば、障害があるがゆえに、一つひとつの理解と行動に時間を要する障害のある人たちは「生産性が低い」と、たちまち社会から排除されることになるかもしれません。

私たちは、そのような社会にしないためにも、障害のある人たちの「持てる力で精一杯働きたい」と思う気持ちに寄り添い、一緒に働く仲間として受け入れられる労働環境や社会環境を共に創っていく事が、何よりも大切だと思います。そして「働く」ことは憲法で保障された権利であり、その働き方は多様性が認められ、自分らしく「働く」ための選択肢を広げていくことが必要です。それが、人としての尊厳を守り、社会の発展へ繋がっていくのではないのでしょうか。

(担当：岡田・片山)





# いただきました (H30年7月1日~H30年8月31日まで)

## 金一封ご寄付

(順不同)

上落薫様 大前やえこ様 平森忠夫様 向井敏洋様 梶田征嗣様 藤原靖栄様 Yショップ中久保様  
自然を見守る会様 伊藤栄様 山下悦子様 片山熊雄様 近藤眞次様 甲奴ショッピングセンターハート様  
甲奴タクシー様 掛本啓吾様 有限会社小川モータース様



## 野菜・食品・物品等のご寄付

(順不同)



中垣博子様 梶谷真由美様 平内佳子様 水越美智子様 松本孝雄様 グリーンカーベル様 高橋信子様 秋山謙蔵様 三輪是嗣様  
くみあい燃料庄原ガスセンター様 健康宅配ネット様 宇賀とうもろこし愛好会様 藤原靖栄様 貞谷保貴様 風呂節子様  
沖川康子様 山根孝志様 荒川弘行様 瀬川洋介様 国本幸雄様 藤岡学様 秋山安佐子様 竹田夏子様 匿名様



## ボランティア

末藤朱美様 大前みどり様 あらくさ友の会様 あらくさ家族会様 (順不同)

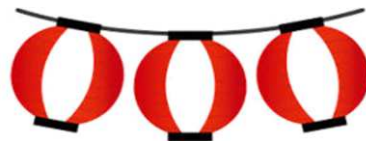
いただいた食材は給食等にに使わせていただきました。この他にも、アルミ缶・紙等の資源回収にご協力いただきました。ありがとうございました。記載もれがありましたら、どうかお許しください。



## ボランティア

# 夏まつりにご協力、ありがとうございました!

向井敏洋様 伊藤栄様 山本勉様 藤原靖栄様 上落恵美子様 上甲義馬様  
藤井晃様 明賀宏様 小迫かおる様 杉原利子様 茨木美津子様 佐々木千利様  
高橋和子様 田村賛子様 巳之口節様 中山美代子様 新谷満様 郷原肇様  
中久保勇様 高橋直子様 井上よしみ様 長谷川正伸様 佐々木由美様 高杉美津江様 高杉辰徳様 竹下とよか様  
平田昌子様 近藤弘子様 沖川恵美様 藤岡学様 藤岡泉様 棧敷明文様 棧敷奈美様 山下悦子様 釘貫昭子様  
河野なお様 松岡ゆかり様 清住恵美子様 高橋真由美様 才田秀昭様 佐藤ミツ卫様 伊藤あき様 田村清子様  
広山浩様 道々尚美様 梶田征嗣様 梶田恵子様 水淵郁乃様 新谷直也様 杉浦快様 (順不同)



## 出演団体

こうぬ保育所様 甲奴中学校ブラスバンド部様 劇団こうぬ様 アロハピース・こうぬ様 平川琢也様  
甲奴太鼓一心&宇賀太鼓様 (順不同)



# 職場体験に来られました!



いろいろなことを一緒にすることが出来て、とても楽しかったです。周りの方も優しく教えてくれて、嬉しかったです。ありがとうございました。(根岸さん)

7月30日(月)~8月3日(金)に甲奴中学校2年生の根岸さん、8月2日(木)に塩町中学校2年生の山崎さんが職場体験に来られました。

二人とも、最初は緊張していた様子でしたが、徐々に笑顔も見られるようになり、利用者さんと一緒に作業を頑張っていました。

## お疲れ様でした。

(担当：秋山・川辺)

タオルをたたんで重ねる作業をしました。最初は難しかったですが、だんだん上手にできるようになり、嬉しかったです。(山崎さん)

